

\* 「私は、キリストの恵みをもってあなたがたを召してくださったその方を、あなたがたがそんなにも急に見捨てて、ほかの福音に移って行くのに驚いています。」（ガラテヤ1：6）ガラテヤ教会の中に教会をかき乱す人たちがいた。パウロは正しい福音を彼らに伝えたはずであったが、早くも間違った福音を教えられていた。パウロは「驚いています」と強い感情表現で表す。福音は一つであり、短い文章で表せば、「主イエスの十字架と復活を信じる信仰によってのみ救われる」ということである。しかし、ユダヤ主義者のクリスチャンたちは、「イエスを信じるだけではだめで、割礼を受け、モーセの律法を守らなければわれない」と異邦人に対しても主張した。これはもはや福音とは言えない、パウロは言う。

\*パウロの救いの真理の主張は「イエス・キリストを信じなさい。そうすれば救われます。救われれば、律法を守ることができるようになります。」ユダヤ主義者の主張は、「イエス・キリストを信じなさい。そして、律法も守りなさい。そうすれば救われます。」大きな違いである。律法は私たちの罪を明らかにするためにある、と聖書は言う。そして主イエスの十字架は、律法を守ろうとしてもなかなか守れない私たちに、罪を告白してイエスを信じれば赦していただけるという恵みなのである。もしも、律法を守らなければ救われないのだとすれば、誰一人として救われることはないだろう。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」（エペソ2：8）救いは自分の良い行いや努力によって得るものではない。また、救われた後、成熟に向かって成長させてくださるものは聖霊の神の働きであり、これも恵みなのである。

\*パウロは人の歓心を得ようとして福音を宣べ伝えたのではない。異邦人に気に入られようとして伝道したのではない。かつては厳格な律法主義者であり、クリスチャンを迫害していたパウロは、復活のイエスに出会ってからイエス・キリストを宣べ伝える伝道者として召され、180度変えられた人生を送ることになったのである。

私たちはパウロたちが伝えた「一つの真の福音」を信じ、色々な誘惑や周囲の雑音に惑わされることなく歩みたい。